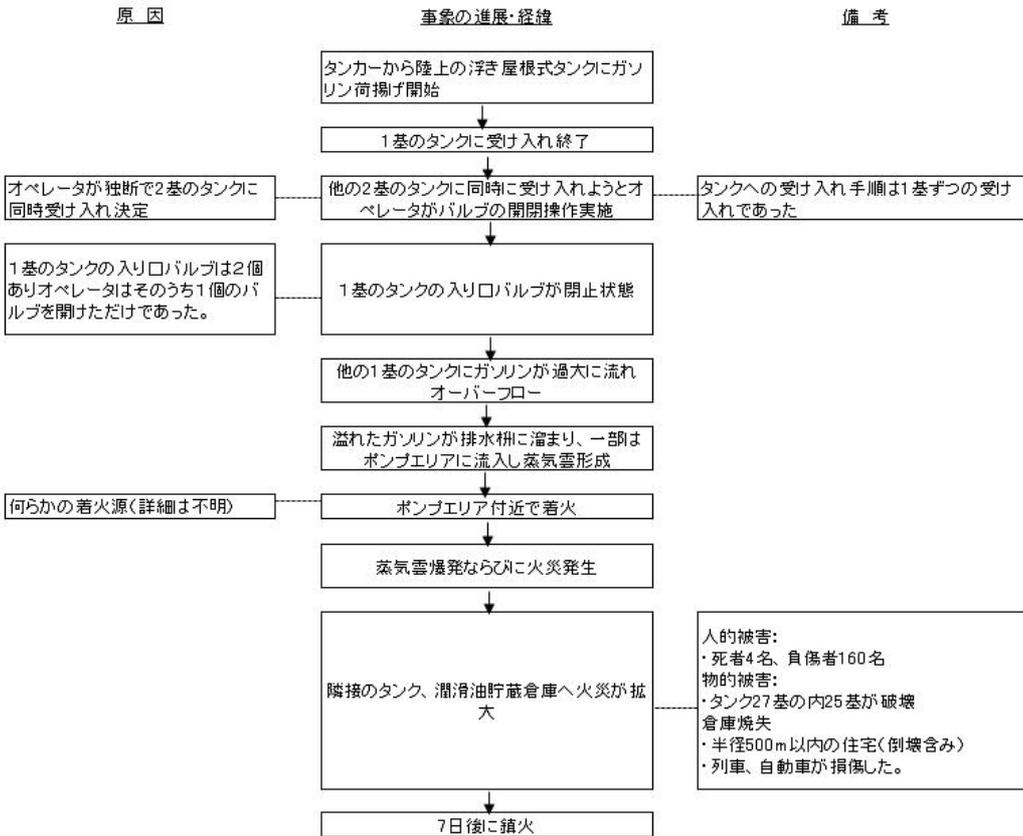




油槽所でタンカーよりガソリン受入中に漏洩、爆発

事象進展図

00208	油槽所でタンカーよりガソリン受入中に漏洩、爆発
発災年月日	1985年12月21日
装置	貯蔵・入出荷設備
運転状況	定常運転中・ルーチン作業中
特徴	タンカーからの陸上タンクへの受け入れ作業時のオーバーフローによる蒸気雲爆発事故



再発防止対策
・揚荷中のタンクレベルの監視強化 ・オーバーフロー防止センサーの設置
1. 防火設備など設備は充実していても、その設備が損傷し機能しないことがある。その場合の対応策も検討しておく必要がある。 2. 課税地区と保稅地区のタンクヤードの間には道路などにより約10m(推定)の距離があり延焼を免れている。延焼防止の防火活動が効果をあげたと思われ、保有距離の重要性が再認識される。

引き金事象発生の原因
・受け入れタンクバルブが閉止状態 ・1基のタンクへの過大流入による過充填

事故の引き金事象
タンクからのオーバーフロー

事故に関係した直接・間接要因
《人的要因》 ・作業確認不足・ミス ・誤操作・不作為など 《管理・運営要因》安全活動の不備・不十分



油槽所でタンカーよりガソリン受入中に漏洩、爆発

添付資料・参考文献・キーワード

参考資料（文献など）

- ・東京海上火災保険株式会社安全サービス部、海外事故情報「ナポリ油槽所の爆発事故」、火災、Vol.36、No.5、P.45-47、1989年
- ・Russo, G. et al., Vapour Cloud Explosion in a Fuel Storage Area: A Case Study, Loss Prevention and Safety Promotion in the Process Industries 9th International Symposium, P.1101-1110, 1998

▶ 添付資料

 [構内概略図](#) (44 KB)

▶ キーワード(> 同義語)

🔑 円錐屋根タンク > コーンルーフタンク, CRT

🔑 浮屋根タンク > FRT, フローティングルーフタンク, 浮き屋根タンク

🔑 貯蔵系

▶ 関連情報